

## 「第4回マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」 助成テーマ決定

株式会社マンダム(本社:大阪市、社長執行役員:西村元延 以下マンダム)は、動物愛護の考えのもと、動物実験代替法の開発に取り組んでいます。その研究の一環として、2007年度より日本動物実験代替法学会の全面的なご協力のもと、「マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」を行っています。今回で第4回目の実施となり、厳正な審査の結果、3件の研究テーマに助成交付が決定しました。

### 助成テーマについて

2010年9月1日に募集を開始した「第4回マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」は、2011年1月31日で募集を締め切り、今回も多数の応募をいただきました。厳正な審査の結果、今回の研究助成交付は以下3件に決定しました。

研究助成交付者(所属)敬称略	研究テーマ
李 禎翼 (建国大学)	2種類以上の市販細胞株で構築された生体模写組織(biomimetic tissues)の開発および活用性の検討
有海 秀人 (北里大学薬学部)	虚血性心疾患治療薬開発におけるコネキシン43の脱リン酸化反応とアセチルコリンの関与～動物実験の代替法としての活用～
山本 直樹 (藤田保健衛生大学)	新規作出したヒト角膜不死化細胞(iHCE-NY)を用いた眼刺激性試験評価系の確立

上記3件については、2011年4月より研究助成を開始しています。

なお、「第5回マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」の実施についても、現在検討中です。詳細が決定しましたら、再度ご案内します。

**【マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募について】**

「マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」は、動物実験代替法に関する研究を進めるため、動物実験代替法における研究を広く奨励し、代替法分野における研究の活性化を図ることを目的に、2007 年度より実施しています。

第 4 回についても、以下の条件にて、アジアを中心とした世界中から動物実験代替法に関する研究テーマを募り、採用テーマに対し、研究助成を行っています。

**■第 4 回募集要項**

①テーマ	動物実験代替法に関する研究		
②助成内容	1 件あたり 50 万円～200 万円、総額 250 万円/年間		
③スケジュール	2010 年 9 月 1 日	募集開始	
	2011 年 1 月 31 日	募集締切	
	2011 年 2 月初旬	選考開始	
	2011 年 3 月初旬	助成テーマ決定	
	2011 年 4 月 1 日	助成開始(1 年間)	

**【動物実験代替法が開発される背景】**

近年世界各国で動物愛護運動が高まってきています。それに伴い、欧州連合(EU)では、2004 年から化粧品 of 最終製品に対して、また 2009 年 3 月からは化粧品の原料に対しても、動物実験が禁止になりました。2013 年には、動物実験を行った原料を含む化粧品の製品すべてが販売できなくなる予定です。

日本でも、3Rs(Replacement: 動物実験の置き換え、Reduction: 動物使用数の削減、Refinement: 実験時の動物への苦痛の軽減)の概念に則って、動物実験の見直しが動物愛護の観点から社会的に重要視される傾向があり、動物実験代替法の開発が活発になってきました。

一方、化粧品の安全性は、様々な方法で確認する必要があります。マンダムでは、現在可能な限り動物を使用しない方法にて評価を行っていますが、今後さらなる安全性確保のためには、より進んだ動物実験代替法の開発が急務となっています。現在 3Rs の中でも、「Replacement」に着目し、動物実験代替法の開発に取り組んでいますが、その一環として、動物実験代替法研究への公募による助成を行っております。

以上